



「コスタ・フォーチュナ」が2度目の寄港、 クルーズ船展望見学会を開催しました。

平成29年2月26日(日)、ひびきコンテナターミナルにクルーズ船「コスタ・フォーチュナ」が寄港しました。昨年の9月に引き続き、2度目の寄港でした。また、今回はひびきコンテナターミナルにクルーズ船の受け入れを開始してから、初めてとなる市民参加のイベント「クルーズ船展望見学会」を開催しました。*船内の見学はありませんでした。

大型クルーズ船を間近に見ることのできるまたとない機械あって、市民の方の関心も高く、倍率約3倍の応募者の中から抽選で選ばれた33名の参加者は、まずコンテナターミナルに隣接する管理棟の4階からクルーズ船の全体を眺め、クルーズ船や港についてのレクチャーや「コスタ・フォーチュナ」の概要説明を聞いた後、バスに乗り込み岸壁まで移動しました。

実際のクルーズ船の前に降り立つと、その大きさに驚きの声を上げたり、記念写真を撮ったりして楽しんでいる様子でした。また、岸壁では、北九州港のマスコットキャラクター「スナQ」のお出迎えもありました。参加者からは、「フェリーくらいのサイズかと思ったら、もっと大きくてびっくりした」「まるでマンションのよう」「いつか乗ってみたい」などの感想が聞かれました。

「コスタ・フォーチュナ」は、朝9時に入港、夕方5時まで、乗船客は小倉城や門司港レトロ、や太宰府天満宮等をバスで観光して、中国の天津へ向けて出港しました。



春めいた朝もやの中、入港しました



レクチャータイムでは、参加者から活発な質問をいただきました



展望見学会の記念撮影



「また来てね」と中国語でかかれた横断幕を持って、出港を見送りました。